

みんなで創る

～ひとりじゃない!～

東広島市立磯松中学校 第3学年
令和8年2月20日(金) 第(7)号

「卒業まで残り1か月を切りました!」

3年間の学校生活も、いよいよ残り1か月を切りました。日々の中で、「終わり」と「始まり」が同時に近づいてきていることを感じる時期です。

現在、私立高校の入試が始まり、すでに本番を迎えている人もいます。公立高校の入試も、もう間もなくです。緊張や不安を感じるのは自然な事ですが、これまで積み重ねてきた努力は、確実に皆さんの力に変わっています。最後まで本気でやり切ることが、結果だけではなく、この先につながる大切な経験、自信になります。体調管理に気を付けながら、もうひと踏ん張りしていきましょう。

一方で、学校生活も残りわずかとなり、何気ない日常の時間が、これまで以上に大切に感じられる頃ではないでしょうか。友達との会話や教室で過ごす時間を大切にしながら、中学校生活の締めくくりを迎えてください。

教職員一同、皆さんが安心してこの時期を過ごし、次のステージへ進めるよう、引き続き見守り、支えていきたいと思えます。



「道徳の時間について～世界の果ての通学路～」

道徳の時間では「世界の果ての通学路」という教材を扱い、何時間もかけて自宅から離れた学校に通学する子供たちの生活について学習しました。安全に登下校ができることや、地域の方が見守ってくださる環境のありがたさを再確認できる良い機会になったのではないのでしょうか。

～生徒の振り返りより～

世界の子供たちの中には、馬に乗ったり4時間も崖の近くの道を歩いたりするなど、驚くことがたくさんありました。それでも学校に行き、一生懸命勉強する子供たちの動画を見て、学校に行けることを当たり前だと思わないようにしたいです。

危険な道だが、毎日「学びたい」という思いで通学している子供たちが沢山いました。私たちには道路があり、安全な道を通して通学できるということに感謝でいっぱいになりました。

「令和7年度生徒会終了」

先日をもって、令和7年度の生徒会活動が終了しました。中でも、生徒会役員の皆さんが毎朝校門に立ち、挨拶運動を続けてくれた姿は、とても印象的でした。登校してくる生徒を明るく迎える姿は、学校全体の雰囲気を温かいものにしてきていました。行事運営だけでなく、こうした日々の地道な活動の一つ一つが学校を支える大きな力となっていました。生徒会役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

「卒業に向けて」

卒業を目前に控え、3年生は様々な場面で「中学校生活のまとめ」に取り組んでいます。学習面だけではなく、学校や仲間との関わりを振り返りながら、次のステージへ進む準備を進めているところです。ここでは、卒業に向けて現在取り組んでいる活動をいくつか紹介します。



～卒業式に向けた合唱練習～

卒業式に向けて、卒業生合唱の練習が始まりました。今年3年生が歌う曲は「オワリ、はじまり」です。現在は各クラスごとに練習を行い、歌詞の意味を考えながら音程やリズムを確認しています。

また、先日の学年朝会では、音楽科の中田先生によるトロンボーンでの「オワリ、はじまり」の演奏がありました。温かく深みのある音色に、生徒たちは静かに耳を傾け、曲に込められた思いや雰囲気を感じ取る貴重な時間となりました。今後は学年全体での練習も予定されており、一人一人の思いが重なった、3年生らしい合唱になるように、卒業式当日に向けて気持ちを一つにしながら準備を進めていきます。



～卒業カウントダウンカレンダー～

卒業までの残りの日々を大切に過ごそうと、各クラスで「卒業カウントダウンカレンダー」を作成しました。カレンダーは一人一枚ずつ担当し、卒業までの日数とともに、それぞれの思いやメッセージ、イラストが描かれています。完成したカレンダーは順に教室に張り出され、毎日張り出されるたびにクラスメイトの気持ちに触れられる、温かい取り組みとなっています。卒業を意識するこの時期、一日一日を大切にしながら、仲間と過ごす時間をかみしめている様子が見えがえします。

